



材料・化学棟 (南西より)



燃料工学科の創設 昭和12年～昭和20年

白亜館 (旧工学部本館)



北海道大学工学部
School of Engineering
Hokkaido University

【北大・応用化学系の近況】 2022年度



応用化学部門 高分子化学研究室 佐藤敏文
教授 (合成29期 1992年卒)









「光」は「北」から 「北」から「世界」へ

第20代
北海道大学総長

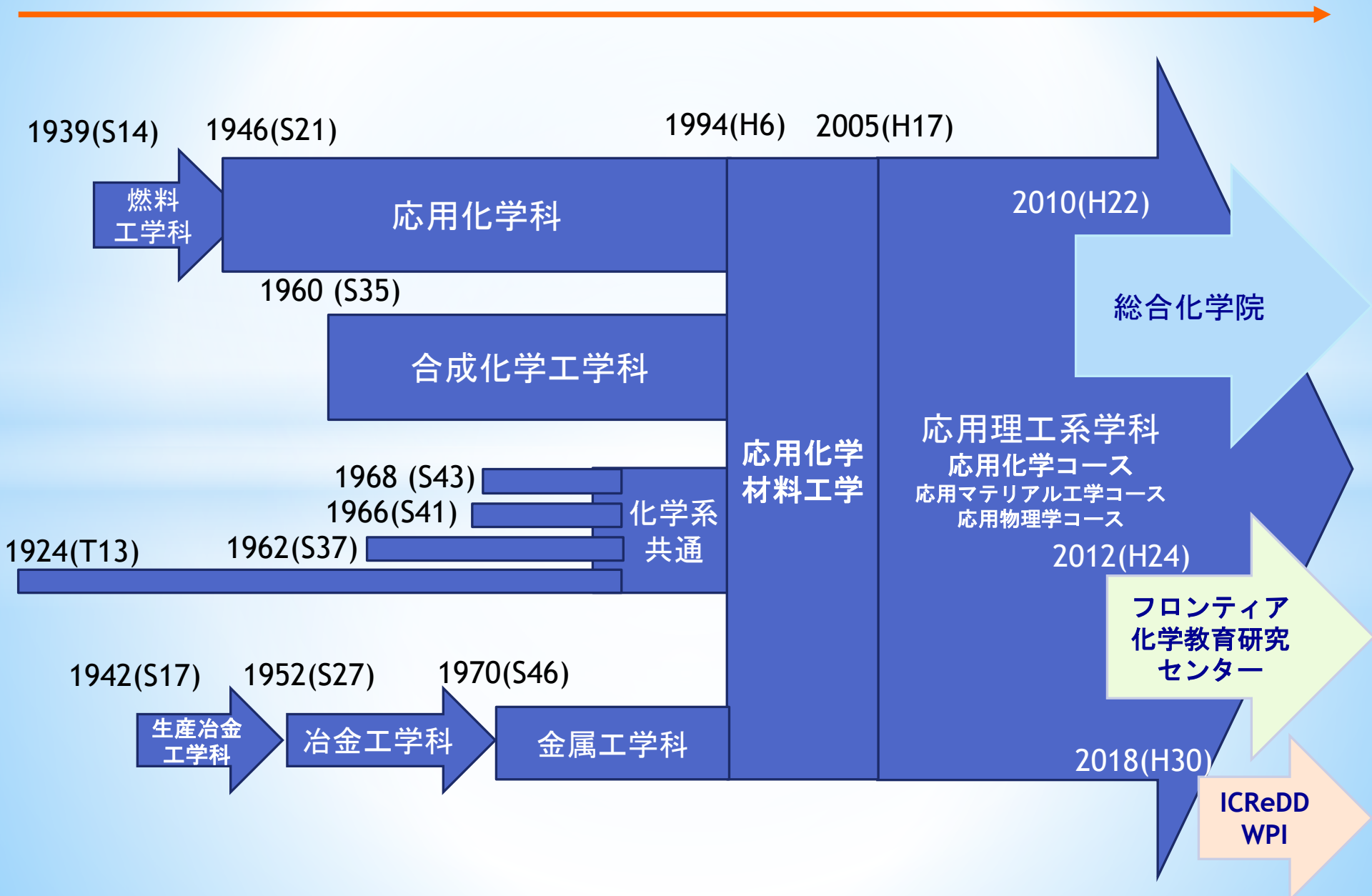
寶金 清博



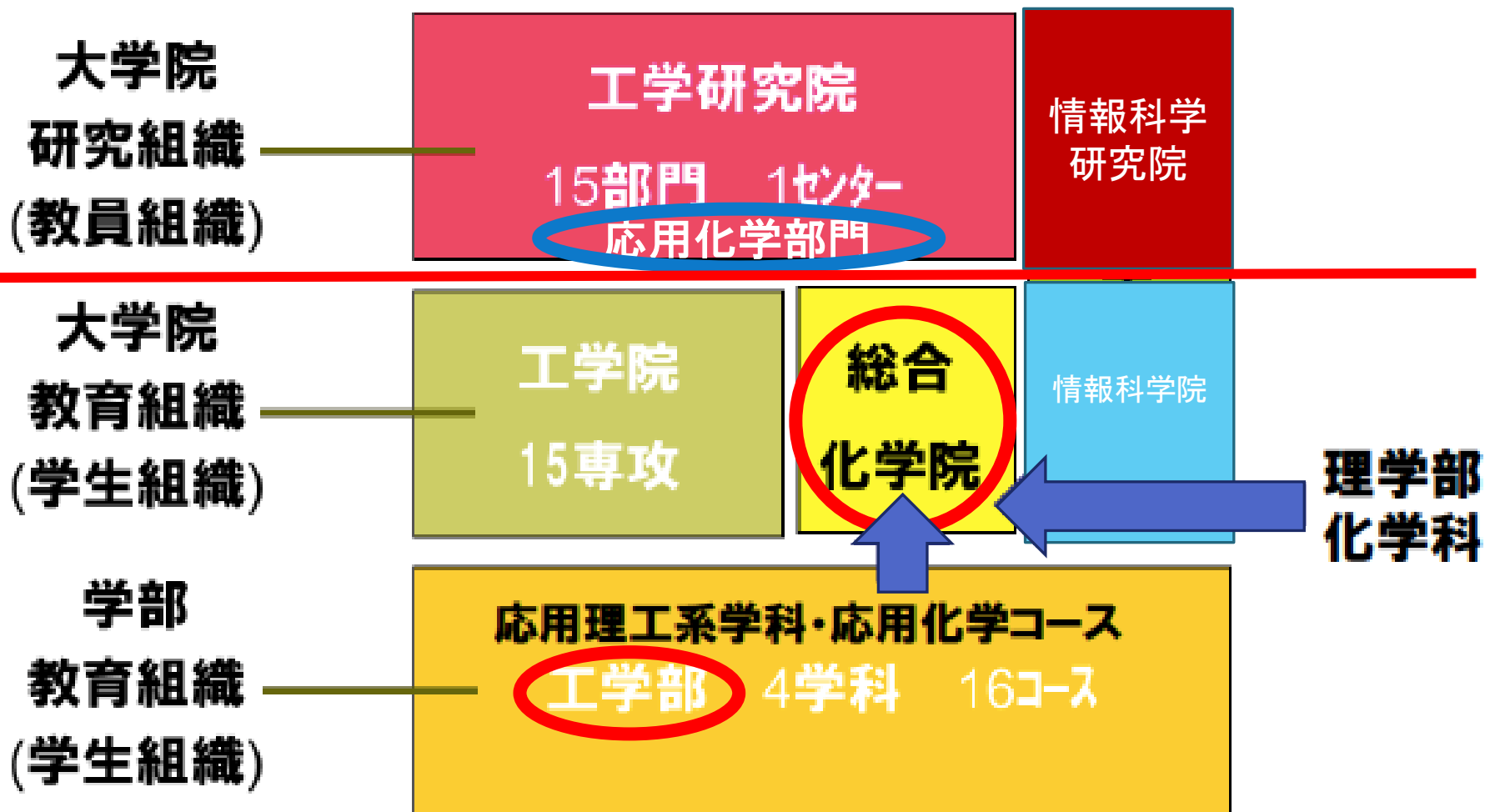
特設サイト <https://www.hokudai.ac.jp/president/>

昭和29年	9月24日	北海道生まれ
昭和54年	3月	北海道大学 医学部医学科卒業
令和2年	10月	北海道大学 総長

学科名， 学科組織の変遷



大学院総合化学院の設置（平成22年4月）



工学研究院長・工学院院长・工学部長

馬場 直志	平成22. 4. 1 ~ 平成26. 3. 31
名和 豊春	平成26. 4. 1 ~ 平成29. 3. 31
増田 隆夫 (応用化学)	平成29. 4. 1 ~ 平成31. 3. 31
瀬戸口 剛	平成31. 4. 1 ~

総合化学院長

喜多村 昇(理)	平成22. 4. 1 ~ 平成24. 3. 31
覺知 豊次 (応用化学)	平成24. 4. 1 ~ 平成26. 3. 31
坂口 和靖(理)	平成26. 4. 1 ~ 平成28. 3. 31
大熊 毅 (応用化学)	平成28. 4. 1 ~ 平成30. 3. 31
武次 徹也(理)	平成30. 4. 1 ~ 令和 2. 3. 31
大利 徹 (応用化学)	令和 2. 4. 1 ~ 令和 4. 3. 31
佐田 和己(理)	令和 4. 4. 1 ~



北海道大学 Hokkaido University

大学院工学院 / 大学院工学研究院

Graduate School / Faculty of Engineering

多様な知の融合

大学院工学研究院長・工学院院长

教授 瀬戸口 剛

Prof. Tsuyoshi SETOGUCHI



2024年で工学部創立100年

記念行事2024年9月27・28日の予定

100年記念誌発行・募金開始予定

■ 多元的な社会課題を解くための知の融合

私たちは、国内では人口減少と少子高齢化による地域の衰退や担い手不足などの問題、世界的には人口急増による食料と資源の枯渇や地球環境の問題など、多元的な社会課題に直面しています。これらの課題に対しては一元的な思考や技術ではなく、様々な知を結集させて包括的に解決策を見出す必要があります。そのためには、内在する多様な知を融合させて多元的な課題を解きほぐし、大学が社会のあるべき姿や社会システムを示さなければなりません。なかでも、多元的な課題を解いて事物を創造する工学の思考が、現代社会において求められます。

<https://www.eng.hokudai.ac.jp/graduate/about/dean/>

増田 隆夫 理事・副学長

(研究, 産学官連携担当) ・ 最高研究責任者

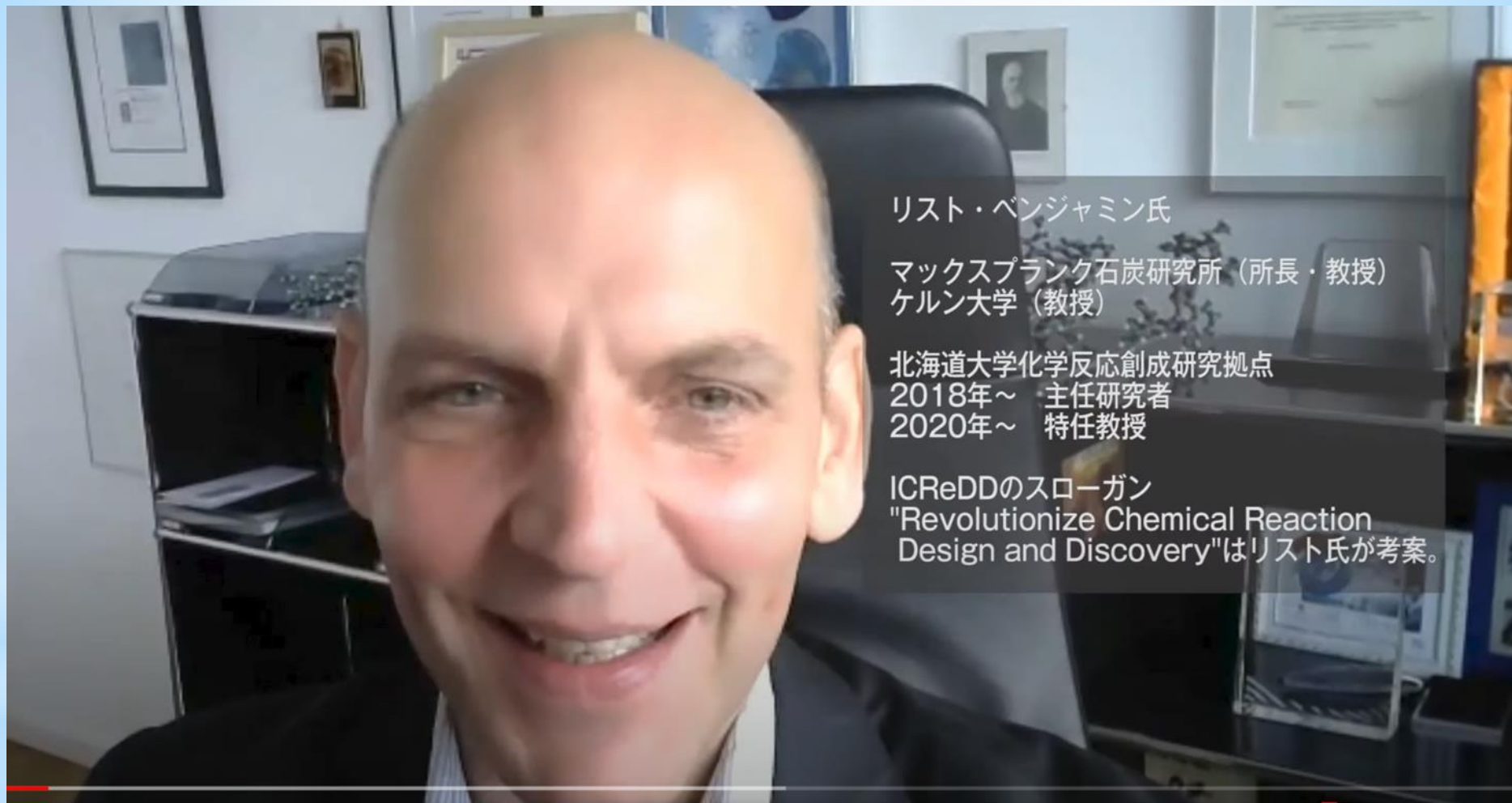
令和2年10月から

任 期：令和4年4月1日～令和6年3月31日（再任）



<https://www.hokudai.ac.jp/introduction/directors/no4.html>

2021年ノーベル化学賞 北大ICReDD(WPI) 特任教授



リスト・ベンジャミン氏

マックスプランク石炭研究所 (所長・教授)
ケルン大学 (教授)

北海道大学化学反応創成研究拠点
2018年～ 主任研究者
2020年～ 特任教授

ICReDDのスローガン
"Revolutionize Chemical Reaction
Design and Discovery"はリスト氏が考案。

https://www.youtube.com/watch?v=JbS_-DOYjml

不斉有機触媒の開発

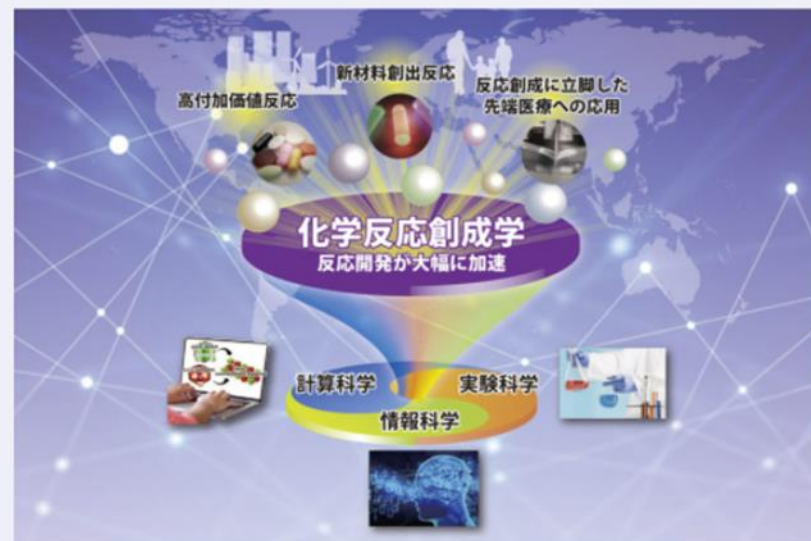
化学反応創成研究拠点（ICReDD）

化学反応創成研究拠点（ICReDD / アイクレッド）では、計算科学、情報科学、実験科学の3分野を融合させることにより、新しい化学反応をより深く理解し効率的に開発することを目指しています。



前田 理 拠点長

理学研究院
化学部門



世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）は文部科学省の事業として2007年に開始されました。第一線の研究者が世界から多数集まってくるような、優れた研究環境ときわめて高い研究水準を誇る、「世界から目に見える研究拠点」の形成を目指しています。

ICReDDはWPIの新たな研究拠点として2018年10月に北海道大学に設立されました。世界中の大学や企業と技術を共有し、WPIが掲げる理想のもと、国際社会に貢献します。

<https://www.icredd.hokudai.ac.jp/ja/about>

工学研究院 応用化学部門

主任研究者：○伊藤肇教授 ○長谷川靖哉教授 ○猪熊泰英准教授

事務長：○山本 靖典准教授

教員の昇進 (2019.5)

化学システム工学 中坂 祐太准教授

→ 同研究室 助教から

教員の昇進 (2020.3)

無機合成化学 三浦 章准教授

→ 同研究室 助教から

教員の昇進 (2021.1)

応用生物化学 小笠原 泰志准教授

→ 同研究室 助教から

教員の昇進 (2021.4)

高分子化学 磯野 拓也准教授

→ 同研究室 助教から

生物計測化学 真栄城 正寿准教授

→ 同研究室 助教から

有機元素化学 久保田 浩司准教授

→ 同研究室 特任助教から

教員の昇進 (2021.10)

先端材料化学 北川 裕一准教授

→ 同研究室 特任講師から

教員の採用 (2019.4)

界面電子化学 北野 翔特任助教

教員の採用 (2021.4)

先端材料化学 庄司 淳特任助教

生物合成化学 富田 宏矢助教

教員の異動 (2021.4)

化学反応工学 岩佐信弘助教

→ 材料化学工学 助教

教員の異動 (2021.7)

高分子化学 Brian J. Ree 特任助教

→ アメリカ UES, inc (Air force研究所)

教員の異動 (2021.10)

化学システム工学 吉川 琢也 助教

→ 帯広畜産大学 環境農学研究部門 准教授

教員の退職 (2021.3)

化学反応工学 藤田 進一郎講師

エネルギー変換システム 熊谷 治夫助教

教員の退職 (2022.3)

化学システム工学 増田 隆夫特任教授

細胞培養工学 高木 睦特任教授

細胞培養工学 恵良田 知樹准教授

教員の採用 (2022.4)

化学システム工学 菊池 隆司教授
東京大学 准教授から

研究室名の変更 (2022.4)

細胞培養工学研究室

→生物分子化学研究室

生物計測化学研究室

→マイクロシステム化学研究室

化学反応工学研究室

→触媒反応工学研究室

教員の異動 (2022.4)

生物分子化学 田島健次准教授

高分子化学 准教授から

生物分子化学 谷 博文准教授

生物計測化学 准教授から

生物分子化学 藤原 政司助教

細胞培養工学 助教から

材料化学工学 中坂 祐太准教授

化学システム工学 准教授から

教員の異動 (2022.3)

生物合成化学 堀 千明助教

→北大地球環境 准教授

無機合成化学 Carolina Rosero助教

→スペインの研究所

教員の採用 (2022.4)

有機元素化学 一色 遼大特任助教

教員の採用 (2022.5)

高分子化学 李 豊 (Li Feng)助教

教員の採用 (2022.10)

化学システム工学 多田 昌平助教

マイクロシステム化学 日比野 光恵助教

応用生物化学 角田 毅特任助教

教員の異動 (2022.10)

生物合成化学 富田 宏矢助教

→大阪大学 准教授

教員の退職予定 (2023.3)

電子材料化学 安住 和久特任教授

電子材料化学 小泉 均特任准教授

生物合成化学 大井 俊彦准教授

北鐘杯ソフトボール大会



2019年度 優勝 応用生物化学研究室

2020年度・2021年度・2022年度 中止

北鐘杯ソフトボール大会



総合化学院 2021年度 修了式

修士・博士学生(工学系)



工学部応用化学コース 2021年度 卒業式

学部学生



北鐘賞 受賞者紹介

工学部学生

◆2017年度

皆上 昂ノ介(材料化学工学)



◆2018年度

武田 一樹(化学システム工学)



◆2019年度

野口 真司(無機合成化学)
総合化学院D1



◆2020年度

草田 正汰朗(固体反応化学)
総合化学院M2

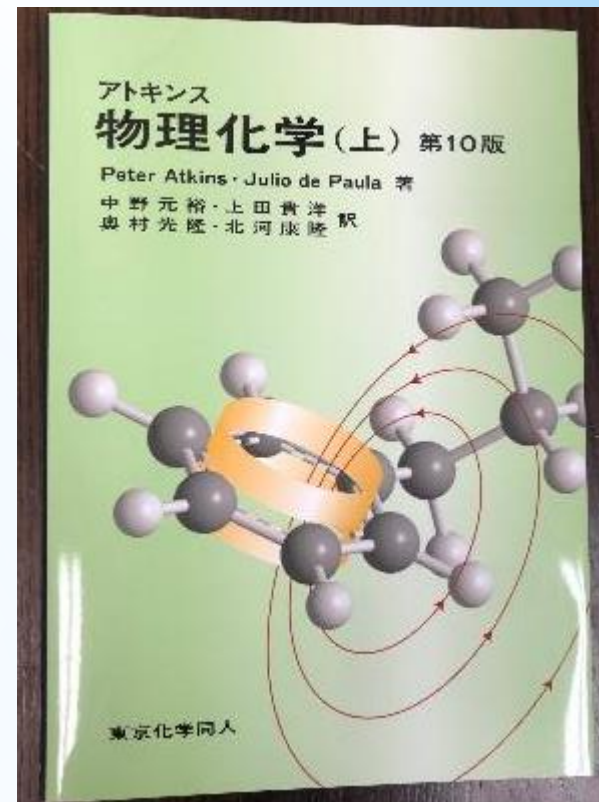


◆2021年度

近藤 恵祐(有機元素化学)
総合化学院M1

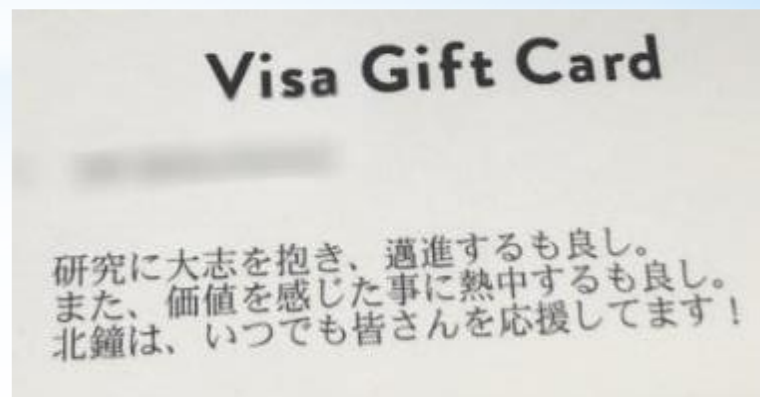


北鐘から学生達への支援 2021年度(2年生68名+3年編入4名)

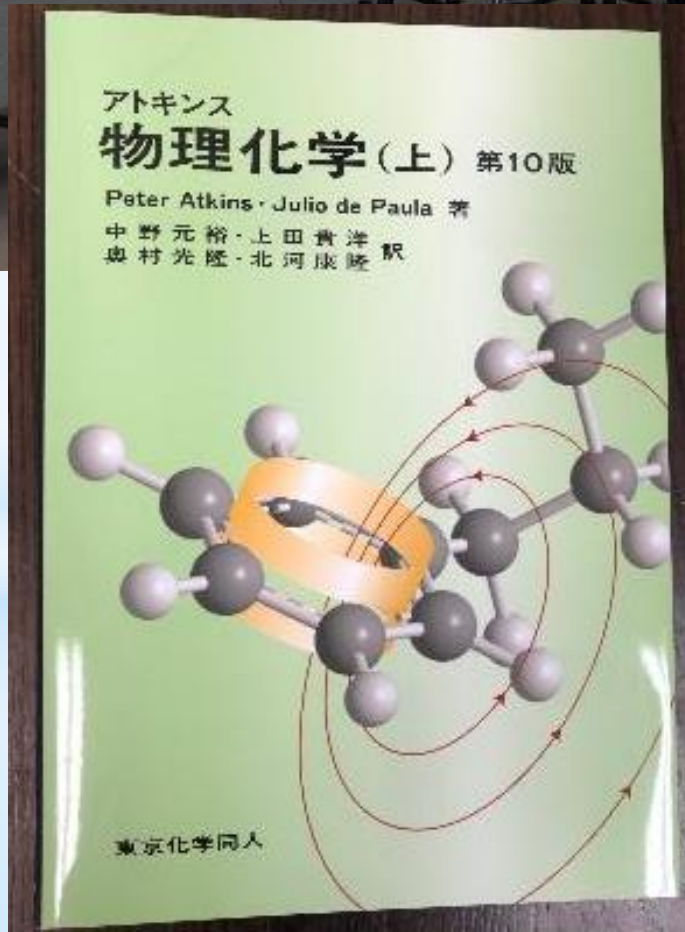


(3年生+4年生 154名)

(大学院生 107名)



北鐘から学生達への支援 2022年度（3年編入 6名）



御 礼

今回の学生達への経済支援の件、心より感謝いたします。

先輩等からの支援が学生の心の支えになっていると感じています。

また、北鐘賞や北鐘杯ソフトボールなどでのご支援も、

誠にありがとうございます。

今後とも支援の程、よろしくお願いいたします。

工学研究院 応用化学部門

教員一同

応用化学のものづくり

研究成果が役立つ「もの」に。
それが、社会を変えていく。

気になるもの探し

#素材×応用化学

より効率よく、より便利に。社会の暮らしを変え

#発想×応用化学

これまでにない発想を化学の力で実現。世界の常

#環境×応用化学

製品や化学反応による環境負荷を減らす方法を開